

様式第1号(第2条関係)――A

(表)

奨学生願書			※ 受付番号					
※ 決定番号	年—	※ 決定区分	県立高・私立高・高等専・公立短大 私立短大・公立大・私立大・条例第2条第5号					
在 学 校 欄	学校名	学校長検印 校長名						
	所在地	電話() —						
申請者欄								
申請者			男・女	生年 月日	年月日 (満歳)			
本籍			現住所	電話() —				
奨学資金	① 貸与期間	自至 年年 月月 日日	※ 貸与月額	月額 円				
家 族 の 状 況	氏 名 (家計支持者には○、 別居者には×)	続柄	年齢	職業	在職先 在学先	疾病 の有無	収入(税込) 千円	所得(税込) 千円
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
	9							
計人								
連帯保証人欄								
連帯保証人名			申請者との続柄		生年 月日	年月日		
本籍	現住所	電話() —			年間所得額(税込額) 千円			

様式第1号(第2条関係)一B

(裏)

参考事項	在学中の学校(科)名		進学予定学校(科)名			
	学校 科 年在学		第1志望校		第2志望校	
			学校 科		学校 科	
	奨学金を希望する理由					
	本人の履歴	年月日	履歴事項			
		年月日				
		年月日				
		年月日				
		年月日				
	1箇月当たりの平均学費	収入(円)		支出(円)		備考
家庭から			生活費			
内職(アルバイト)から			交通費			
町奨学資金から			学校納付金			
その他から			書籍・学用品			
			その他の			
計			計			
以上の記載事項に相違ありません。						
奨学生として採用された場合は、南会津町奨学資金の貸与に関する条例その他関係規則の規定を守り、奨学生としての責務を果たすことはもとより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を履行します。						
万一、正当な理由なく、奨学資金の返還を怠った場合には、返還期限にかかわらず返還未済の金額に対する一括返還の請求を受けても、また、強制執行の手続をとられても、異議ありません。						
上記のとおり連帯保証人と連署して誓約します。						
令和 年 月 日						
南会津町教育委員会						
申請人 印 連帯保証人 印						

記入上の注意

※判定	項目	人 数	金額 千円	備 考
	総所得額(A)			
	控除分	母子家庭		
		就学者		
		疾病者		
		その他		
		計 (B)		
		差引(A-B)		
		基 準		

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) 「在学校欄」は、学校で記入押印してください。
- (3) 「本人履歴」欄には、中学校卒業以降の学歴等について記入してください。
- (4) 「1箇月当たりの平均学費」の欄には、在学生は最近のもの、新入生は入学後の1箇月当たりの見込み額を記入してください。
- (5) 資料として、前年の所得証明書(様式A)を添付してください。